

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和3年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2021-4	高出力 X 線および磁気計測による PC 橋梁の腐食状況の検出と構造安全性評価に関する技術開発	金沢工業大学 教授 田中 泰司	B
<p>&lt;研究の概要&gt;</p> <p>塩害やグラウト充填不足などによって PC 鋼材が腐食している橋梁の腐食状況を非破壊で検出できる高出力 X 線装置および磁気計測装置を開発し、さらにその結果を構造解析に反映して構造安全性を定量的に評価する技術を確立する。</p> <p>&lt;中間評価結果&gt;</p> <p>研究開発は順調に進んでいるが、当該研究での試験橋梁以外の橋梁での実用化に向けた研究開発と成果のとりまとめを行う必要があることから、指摘事項に留意しながら現行の通り推進することが妥当であると評価する。</p> <p>&lt;今後の研究計画・方法への指摘事項等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高出力 X 線による鋼材の状況観察(画像解析)の結果、および磁気ストリーム法計測結果の情報から、精度よく鋼材状況を把握するマニュアル作成を期待する。特に、腐食レベルがどの程度の精度で把握できるのか確認が必要である。</li> <li>・実橋の解体工事で得られる腐食状況に関して、定量、半定量、グレード分類などの、評価水準を明確にして、手法の適用性を明らかにしていただきたい。</li> </ul>			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 45 回新道路技術会議において審議したものである。